



関連病院実習カリキュラム（麻酔科 1 週間）

病院名：碧南市民病院

診療科：麻酔科

期間：1 週間

実習管理責任者：杉浦誠治

カリキュラム責任者：近藤博子

実習指導医：近藤博子

1 実習目標

一般目標：

プライマリケアに必要な呼吸・循環をはじめとする全身状態の評価と、状態の変化や危機に対して対応していく知識技術を、周術期の患者を通じて実践し身につけていく。

行動目標：

- ① 術前診察により全身状態を評価し、リスクを把握する。
- ② 起こり得る危機を想定し、その対策を計画する。
- ③ 基本的な気道確保・人工呼吸の方法を身につける。
- ④ 血圧のコントロール、不整脈への対処など、循環管理を行う。
- ⑤ 全身麻酔を学び、実践する。
- ⑥ 局所麻酔、疼痛管理の方法を学び実践する。
- ⑦ 全身状態のモニタリングと管理を行う。

2 実習方略（実習方法）

(1) オリエンテーション

実習の流れの説明と手術麻酔の見学から始まり、できるところから徐々に実習に入っていく。

(2) 受持ち患者

1 日 1 ～ 2 名の手術患者の麻酔管理を担当する。

(3) 病棟実習

- ① 術前診察をし、麻酔計画を立てる。
- ② 静脈路確保を行い、その技術を修得する。
- ③ 術後診察により周術期全体を評価する。

(4) 術前カンファレンス

- ① その日に行う手術麻酔症例の一般状態、手術内容、麻酔計画等を研修医・指導医・手術室スタッフを含めて検討、情報交換する。
- ② 毎朝実施する。

(5) 手術麻酔実習

- ① 全身麻酔：麻酔を導入し、バック・マスクによる用手的人工換気、マスキントッシュ

喉頭鏡やAWS（エアウェイスコープ）を用いた気管挿管とLM（ラリングマスク）などの気道確保を行い、呼吸管理をする。

- ② 静脈麻酔、吸入麻酔による麻酔の導入・維持、麻酔深度と呼吸循環のコントロールを行う。
- ③ 脊椎麻酔、硬膜外麻酔及びCSEA（硬膜外麻酔併用脊椎麻酔）
- ③ 緊急手術の麻酔管理
- ④ 輸血、輸液、CVライン確保、動脈ラインモニター

(6) 消防署1泊、救急出動の実習（希望により）

3 実習評価（チェックリスト）

(1) 診察法

- 術前の全身評価、リスクの把握が適切か
- 術中の状態の変化を適切に評価して対応できるか

(2) 基本的臨床検査法

- 人工呼吸、手動的及び機械的換気
- 気管内挿管をはじめとする気道確保
- 麻酔薬、筋弛緩剤、循環作動薬の知識と使用法
- 患者モニターと安全への配慮
- 不安・疼痛への対処
- 全身麻酔
- 局所麻酔

(3) 医療の場での人間関係

- 患者や家族との適切な人間関係をつくることができる
- 指導医及び他の医師、コメディカル・スタッフとの適切な人間関係をつくることのできる